



日本語



森の寺ウェブサイト

文化庁 文化財多言語解説整備事業
森の寺 海外発信プロジェクト

<後援>

舞鶴市／綾部市／舞鶴市教育委員会／綾部市教育委員会
海の京都DMO舞鶴観光協会／綾部市観光協会／綾部商工会議所
青葉山松尾寺／鹿原山慈恩寺金剛院／神宮山岩王寺／塩岳山楞嚴寺
綾部の文化財を守る会／エフエムあやべ／北近畿みらい



森の京都




海の京都



Agency for Cultural Affairs, Government of Japan





都から少し離れた深い緑の中。

茅葺の山寺、苔むした石段、
幾月を重ねてなお当時の姿を今にとどめる景色。

風情溢れる森の寺で、
ゆっくり流れる時間をお楽しみください。

500m

森の寺 / 綾部 Temple in the Forest: Ayabe City



▶ 至 光明寺
To Komyoji Temple

岩王寺 Shakuoji Temple

京都府綾部市七百石町寺の段1

- 【バス】JR綾部駅よりあやバス西八田線「七百石バス停」下車、北へ徒歩20分
- 【自動車】国道27号線を舞鶴方面に北上。「上杉」交差点を左折し、府道485号線を西へ進む。あやバス「七百石バス停」前を右折して北へ進む。



楞嚴寺 Ryogonji Temple

京都府綾部市館町楞嚴寺6番地

- 【バス】JR綾部駅よりあやバス志賀南北線「館バス停」下車 東へ徒歩20分
- 【自動車】国道27号線「味方」交差点から丹波大橋を渡って府道8号線を直進。「鳥ヶ坪」交差点を右折、府道9号線に入る。「栗町」交差点で右折して豊里郵便局の手前の道を左折し、北へ進む。



アクセス



人里離れた緑の奥にある古刹



神宮山・岩王寺は、天曆3年(949)、空也上人によって創建されたと伝えられています。

寺の名は、嵯峨天皇が、寺の裏山から採掘された硯石を「石の王子=しゃくおうじ」と呼んで愛用したことに由来しています。

※現在では岩王寺石と呼ばれています。

前庭は、岩王寺石を適所に配した流れ山水となっていて、茅葺き屋根と四季の花との調和が高く評価されています。



重要文化財
Important
Cultural
Property

髹漆卓
Kyushitsutaku

髹漆卓とは、本尊の前に置かれ、香炉・燭台・花瓶等を乗せる机として使用される仏具です。

細やかな彫刻が施され、室町時代の禅宗の経卓としての華やかさが見られます。

永享4年(1432)との施入銘があり、献上された時期が記されています。

髹漆(きゅうしつ)とは、漆塗(うるしぬり)を主とする技法のことで、工程を重ねて丁寧に仕上げられています。

大正14年(1925)8月、重要文化財に指定。



IMAGES

髹漆卓
Kyushitsutaku

◀こちらをスマートフォンやタブレットのカメラで読み取ってください。



四季の花咲く丹波のカラス寺



塩岳山・楞嚴寺は、天平4年(732)、林聖上人により創建されたと伝えられています。
 時代の変遷を経て、宝永5年(1708)に本堂が再建。本堂内陣の天井には秋田杉の板が使われ、96面に渡って様々な花の絵が描かれています。
 また、四季のカラスを描いた襖絵により「カラス寺」としても親しまれています。
 「関西花の寺25ヶ所」第2番札所として、つつじや蓮など四季折々の花も楽しめます。



重要文化財
 Important Cultural Property

絹本著色不動明王像

Color painting on silk of Fudomyo-o

不動明王の傍らに三人の童子が立つ掛け軸。
 紙ではなく絹に描かれています。
 この仏画は、明治45年(1912)頃に所在不明となってしまう、第二次大戦後に国宝から重要文化財となりました。

その後、ドイツの東洋美術館が所蔵していると判明しましたが、入手経路が合法的だったため現物の返還はされず、平成29年(2017)、複製品が105年ぶりにお披露目されました。
 明治37年(1904)2月、重要文化財に指定。



IMAGES

絹本著色不動明王像
 Color painting on silk of Fudomyo-o

◀こちらをスマートフォンやタブレットのカメラで読み取ってください。

森の寺 / 舞鶴 Temple in the Forest : Maizuru City



Wakasa Bay
若狭湾

Maizuru Bay
舞鶴湾

Maizuru Ferry Terminal
舞鶴フェリーターミナル

Higashimaizuru Station
東舞鶴駅

Matsuno'o-dera Temple



Matsuno'o-dera Station
松尾寺駅

Kongoin Temple
金剛院



Aonogo Station
青郷駅

Mitsumatsu Station
三松駅

舞鶴東IC
Maizuru-higashi IC

舞鶴PA
Maizuru PA

松尾寺 Matsuno'o-dera Temple

京都府舞鶴市字松尾532

- 【電車】JR小浜線「松尾寺」駅より徒歩50分
- 【タクシー】JR舞鶴線「東舞鶴」駅よりタクシー20分
- 【バス】JR舞鶴線「東舞鶴」駅より京都交通バス（高浜方面行き）で「松尾寺口」バス停下車 徒歩40分
- 【自動車】舞鶴若狭自動車道「舞鶴東」ICから15分



金剛院 Kongoin Temple

京都府舞鶴市鹿原595

- 【電車】JR小浜線「松尾寺」駅より徒歩20分
- 【バス】JR舞鶴線「東舞鶴」駅から京都交通バス（高浜方面行き）で「鹿原」下車、徒歩10分
- 【自動車】舞鶴若狭自動車道「舞鶴東」ICから10分



1km

アクセス



青葉山の山腹に荘厳なる名刹



青葉山・松尾寺は、和銅元年(708)、威光上人によって創建され、馬頭観音をお祀りしています。馬頭観音は、漁労、農業、交通安全、動物保護のみならず、競馬関係からも信仰を集めています。松尾寺は、日本遺産で日本最古の巡礼道である西国観音巡礼の29番札所です。境内のイチヨウの古木は、舞鶴市指定の天然記念物で、元永元年(1119)、鳥羽天皇がお手植えされたと伝わっています。また、中世よりの“仏舞”や平安時代の国宝絵画など多くの文化財を有します。



国宝
National
Treasure

絹本著色普賢延命像

Color painting on silk of Fugen Enmei

舞鶴市では唯一の国宝となる仏画で、平安時代の制作と考えられています。三つの頭を持つ白象に座る普賢延命菩薩、その下には菩薩を支える五千の群像を表す数多くの小さな象が描かれています。ほかしの照り隈(てりくま)や色のグラデーションの纏綱(うんげん)の技法を多用し、細く切った金箔や銀箔を使い、文様を表現する截金(きりかね)という技法を用いて、優しく穏やかな菩薩の表情を繊細に現しています。昭和27年(1952)11月、国宝に指定。



IMAGES

絹本著色普賢延命像

Color painting on silk of Fugen Enmei

◀こちらをスマートフォンやタブレットのカメラで読み取ってください。



重要文化財
Important
Cultural
Property

木造阿弥陀如来坐像

Wooden sitting statue of Amida Nyorai

昭和38年(1963)、木造阿弥陀如来坐像の頭部内側に墨書銘が確認され、鎌倉時代初期に活動した仏師・快慶の初期作品であることが判明しました。台座及び光背を失い、両手先は後補ですが、快慶初期作品の中でも特に優れた作品として称賛されています。

快慶自らが墨書した仏像は全国に20体ほど。

その内、舞鶴市には3体の仏像があり、1体が松尾寺に、2体が金剛院に安置されている。

昭和46年(1971)6月、重要文化財に指定。



View more
IMAGES

IMAGES

木造阿弥陀如来坐像
Wooden sitting statue of Amida Nyorai

◀こちらをスマートフォンやタブレットのカメラで読み取ってください。



重要無形
民俗文化財
Important Intangible
Folk Cultural
Property

松尾寺の仏舞

The Hotokemai Dance of Matsuno'o-dera Temple

仏舞は、江戸時代以前から伝わる奉納舞で、毎年、卯月八日(現5月8日)に行われています。

雅楽に合わせ、「釈迦如来(しゃかにょらい)」「大日如来(だいにちにょらい)」「阿弥陀如来(あみだにょらい)」が優雅な舞を披露します。

舞人・楽人は周辺地域に住まう「松尾寺仏舞保存会」の方々によって今も伝承されています。

平成16年(2004)2月、重要無形民俗文化財に指定。



View more
MOVIES

MOVIE

松尾寺の仏舞
The Hotokemai Dance of Matsuno'o-dera Temple

◀こちらをスマートフォンやタブレットのカメラで読み取ってください。



Kongoin Temple

悠久なる情景を彩る丹波のもみじ寺



鹿原山慈恩寺・金剛院は、天長6年(829)、真如法親王によって創建されたと伝えられています。その後、荒廃した寺は、白河天皇により復興、三重塔も建立されました。境内には約3000本のもみじの木があり、紅葉の名所「丹後のもみじ寺」として親しまれています。江戸時代に築造された鶴亀の庭や本堂が、千年榎(せんねんがや)の巨樹や銀杏の古木のある景観と溶けあい、歴史ある環境を保持しています。



重要文化財
Important
Cultural
Property

金剛院塔婆(三重塔) The (three-storied) pagoda of Kongoin Temple

三重塔は、永保3年(1083)、真如親王の供養のために創建されたと伝えられています。現在の塔は室町時代の再建とされたもので、装飾などに室町時代の特色が示されています。塔内には開祖である真如法親王の坐像が安置されています。

四季の景色にとけ込む姿は、日本文学界を代表する三島由紀夫の代表作「金閣寺」にも登場し、優雅な三重塔と賞されています。大正6年(1917)4月、重要文化財に指定。



MOVIE

金剛院塔婆(三重塔)
The (three-storied) pagoda of Kongoin Temple

◀こちらをスマートフォンやタブレットのカメラで読み取ってください。



重要文化財
Important
Cultural
Property

木造深沙大将立像

Wooden standing statue of Jinja Taisho

深沙大将は、西遊記に登場する沙悟浄（さごじょう）のモデルとしても知られる仏教の守護神です。

左足の内側に「巧匠（アン）阿弥陀仏」の墨書銘があり、鎌倉時代の仏師・快慶の初期作品であると伝わっています。

快慶自らが墨書した仏像は全国に20体ほど。その内、舞鶴市には3体の仏像があり、2体が金剛院に、1体が松尾寺に安置されています。

明治43年（1910）4月、重要文化財に指定。



View more
modeling

CG

木造深沙大将立像
Wooden standing statue of Jinja Taisho

◀こちらをスマートフォンやタブレットのカメラで読み取ってください。



重要文化財
Important
Cultural
Property

木造執金剛神立像

Wooden standing statue of Shitsukongo-shitsu

執金剛神は、仏法を守護する善い神とされています。甲冑を着て金剛杵（こんごうしよ）を持つ武装した姿で、如来を守護する役割を担っています。

深沙大将立像と同様に鎌倉時代の仏師・快慶の作品であると伝わり、深沙大将像と一対のものと考えられています。

この像は、奈良市東大寺にある執金剛神と似ている点が多くあり、快慶が模したのではないかとわれています。

明治43年（1910）4月、重要文化財に指定。



View more
modeling

CG

木造執金剛神立像
Wooden standing statue of Shitsukongo-shitsu

◀こちらをスマートフォンやタブレットのカメラで読み取ってください。